

突発性難聴・顔面神経麻痺に対する点滴治療を行う患者様へ

本日より通院による連日点滴治療が開始となります。

当院の休診日を除いて、基本的に連日6日間通院していただきます。

早期に治療を開始した例ほど予後は良く、発症後2週間以内の治療開始が望ましいとされています。

初回から内服のみでの治療も可能ですが、点滴治療と比較すると治療効果は劣るといわれています。

毎回検査と診察を行い、経過によって薬の量を増減、治療の中止や延長、内服治療への移行をする場合があります。また、連日の点滴と併行して星状神経節ブロック治療を行う場合もあります。(行う方は別紙参照)

受診時の流れ

来院、受付→必要時聴力検査→診察→点滴→次回受診日時の決定→帰宅

(状態によっては流れが前後したり、検査が追加したりする場合があります。)

点滴で投与する薬の内容

- ・生理食塩水：他の薬剤の希釈
- ・ソルコーテフ(副腎皮質ステロイドホルモン剤)：内耳の炎症を抑える、神経の再生促進
- ・ATP：末梢循環の改善
- ・パルクス：末梢循環や、末梢神経損傷の改善
- ・メチコバール(ビタミン₁₂製剤)：末梢神経損傷の改善

点滴投与前に、全身状態を確認する為の採血や尿検査をさせていただきます。

既往に糖尿病、胃潰瘍、緑内障、感染症がある方

妊娠中、授乳中、妊娠を希望している方

は必ず医師にお伝えください。

特にステロイド剤を投与することにより、既往を悪化させてしまう危険性があります。

既往疾患が事前に分かっている場合は、かかりつけの主治医への確認や、

入院の上治療が必要となる場合があります。

また、当院での検査で判明した場合にも、専門医への紹介や入院施設での治療を勧める場合があります。



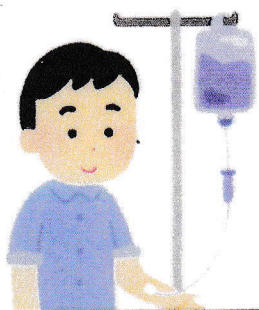
ステロイド剤投与することで起こりうる症状

体重増加、顔や手足のむくみ、食欲亢進、血糖値上昇、胃腸の不快感、不眠、易感染、易骨折 など

点滴投与中に起こりうる症状

血管に沿った発赤、かゆみ、脱力感、ほてり感など

治療中に気になる症状が出現した場合は、すぐに医師や看護師にお伝えください。



様の連日点滴治療計画

日付	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
施行内容	聴力検査 血液検査 尿検査 点滴	聴力検査 点滴	聴力検査 点滴	聴力検査 点滴	聴力検査 点滴	聴力検査 点滴
ソルコーテフ投与量	m g	m g	m g	m g	m g	m g

*状態に応じて追加、変更となる場合があります。

代々木の森耳鼻咽喉科